

政治主導の「教育改革」を検証し、 真の教育のあり方を考える

2006年の教育基本法「改正」に始まり、愛国心教育を推し進め、教科書検定基準の見直し、道徳の教科化、教育委員会制度改革など安倍政権の「教育改革」の危険性とは何か。政治主導の「教育改革」を検証し、グローバル化時代の学校教育と学校づくりについて学びます。また人間の生存にとって不可欠な学習権を保障する図書館や公民館など、社会教育機関の指定管理者制度導入、民間委託が広がり、図書館や公民館の廃止なども行財政改革の名の下に進められています。自治体政府の役割と責任についても学び、議論します。子どもたちの学習支援等の事例もみていきます。今秋から導入予定の「マイナンバー制度」の課題は情報提供として取り上げます。ご期待ください。

とき **2015** 年 **5** 月 **22**(金)・**23** 日(土)

ところ 婦選会館 最寄駅: JR線/代々木駅北口、新宿駅南口下車徒歩約7分

道順はセンターHP参照

小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分

対象・定員 自治体議会議員及びその支援者、テーマに関心のある人(主に女性)約40名(受付先着順)

プログラム

第1日 5月22日(金)

13:30~13:45 ガイダンス・主催者あいさつ

13:45~15:45 講演 **学校教育はいま一試される自治体の良識と力**

共栄大学教授 藤田英典氏

15:55~16:55 ディスカッション

17:00~18:30 懇親会(自由参加)

第2日 5月23日(土)

09:00~10:10 情報提供 **マイナンバー制度がやってくる—市民と自治体にどうかかわるのか?**

NPO 法人情報公開クリアリングハウス理事長 三木由希子氏

10:15~12:15 講演 **暮らしと自治の基盤としての図書館**

東京学芸大学教授 山口源治郎氏

12:15~13:15 休憩

13:15~16:45 事例発表とディスカッション

子ども支援取り組みの現場から

NPO 法人だいじょうぶ(栃木)ほか

16:45~16:50 閉会

参加費 ■16,000円(現職議員以外の方は8,000円) 懇親会参加費は別途2,100円

備考 ▼参加希望者は**5月18日(月)まで**に、①参加費の払込み、②裏面の申込用紙の送付をお願いします。

お払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。

【振込み先】郵便振替 口座番号 00170-0-561022 加入者名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター

▼原則2日間通してのお申込みを優先し、席に余裕があれば1日だけの参加もお受けします。

▼納入後の参加費はお返しできません。ご欠席の場合は代理の方にご出席いただけます。

▼お申込み、お問い合わせは下記まで。▼講師の都合などにより変更がある場合はご了承ください。

主催：公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>

市川房枝政治参画フォーラム2015：政治主導の「教育改革」を検証し、真の教育のあり方を考える

講師プロフィール



藤田英典(ふじた ひでのり)氏

共栄大学教授・教育学部長、東京大学名誉教授、日本教育学会会長、等。石川県出身。専門は教育社会学。早稲田大学政治経済学部卒。都市銀行勤務後、東京大学大学院教育学研究科修士課程、スタンフォード大学教育系大学院博士課程を修了(1978年 PhD)、日本教育社会学会会長(2000-02年)、教育改革国民会議委員(2000年)、中央教育審議会・義務教育特別部会委員(2005年)、日本学術会議会員(2005-11年)等を歴任。『家族とジェンダー：教育と社会の構成原理』(世織書房2003)、『義務教育を問いなおす』(ちくま新書2005)、『教育改革のゆくえ：格差社会か共生社会か』(岩波ブックレット2006)、『安倍「教育改革」はなぜ問題か』(岩波書店2014)他。



山口源治郎(やまぐち げんじろう)氏

1954年石川県生まれ。札幌大学女子短期大学部専任講師をへて、1991年東京学芸大学助教授。現在東京学芸大学教授。専門領域は公共図書館史、図書館法制論、図書館政策論。図書館の公共性、アウトソーシング問題、市民協働、市民参加、について現在特に関心を寄せている。また、多摩地域の図書館協議会委員や、市民との図書館勉強会を20年以上続けている。主な著作として『『中小都市における公共図書館の運営』の成立とその時代』(編著、日本図書館協会1998)、『新図書館法と現代の図書館』(編著、日本図書館協会2010)、『図書館史：近代日本篇』(編著、教育史料出版会2003)、『構造的転換期にある図書館：その法制度と政策』(編著、日本図書館研究会2010)他。



三木由希子(みき ゆきこ)氏

横浜市立大学卒。学生時代より情報公開法を求める市民運動に関わり、卒業後に事務局スタッフになる。情報公開法制定を受けて1999年に組織を改編し、情報公開クリアリングハウス設立とともに室長。現在理事長。公的機関の情報公開を進める政策提案、調査研究などを行うとともに、情報公開制度を利用する市民らの支援も行うほか、自治体や国の第三者機関の委員も務める。共著に『高校生からわかる政治のしくみと議員のしごと』(トランスビュー2013)他。

参加申込書

ふりがな お名前			
連絡先	住所	(〒)	
	電話	FAX	
	メール		
受講歴	はじめて参加 ・ 前に参加したことがある		
現職議員	自治体名		
	所属会派	党籍 有() ・ 無	
議員以外	活動など()		
参加費 払込方法	郵便振替	・ その他()	
	払込金額	参加費(16,000円/8,000円) + 懇親会参加費(2,100円) = 円 *参加費：現職議員以外は8,000円	
参加の きっかけ	議会事務局より ・ 当センターからの案内 ・ 『女性展望』誌上 ・ 当センターHP その他()		
備考(要望など)			

FAX 03 - 5388 - 4633